

最高のお客様と
最高の仲間たちと描く
最高の未来。

draw the glorious future.

社長 FAQ

株式会社フィエルテ

代表取締役社長 永田 玄
Gen Nagata



フィエルテはどのような会社なのですか？

株式会社ディーバで新規事業として発足したのが株式会社フィエルテの始まりです。新規事業発足の性質は「お客様の声や需要の高まり」といった一般的なものではなく、当社側でお客様の抱える問題の本質を訴求することからスタートしましたので、決してスムーズに事業が立ち上がった訳ではありませんでした。ただし需要を想起し、マーケットを創り出すフェーズから事業を立ち上げましたので、明確な競合がおらず、「これからも長きにわたって大きな成長を期待できる」というのが大きな特徴になります。また「少子高齢化や人工知能 (AI) 化により、人々の働き方改革の声が高まる」という社会的背景も当社にとっては非常に大きな追い風になっております。

具体的なお客様に関しましては大手企業様のCFOファンクションになります。事業内容は連結決算のアウトソーシングサービスを中心にしながら、国内外の単体決算・連結納税まですそ野を拡げてサービスを展開しております。連結決算は非常に難しい業務であり、連結決算をすることが出来る人材はマーケットにも少な

いのが大きな特徴です。プレイヤーが少なく、難易度が高いことからお客様は多大な時間をかけて連結決算を行っておりましたが、当社のアウトソーシングサービスを導入することで「お客様は情報をつくる」ことから「情報をつかう」という新たな業務に時間を割くことが可能となり、より付加価値の高いことに時間をつかうことが可能となります。

また数年前からドイツにあるBELLIN社と業務提携をし、TMS (トレジャリーマネージメントシステム) を提供しております。このプロダクトは国内外・法人問わずグループ企業が開設している全ての口座情報を一元管理することができ、全ての口座情報の閲覧から、プーリング・ネットティング・ペイメントに至るまでグループ内での様々な資金管理をすることが可能となります。今までは海外に子会社があっても売上比率が低かったり、子会社数も少ない企業が多かったのですが、グローバル化が進む昨今の環境においては、売上比率も子会社数数も非常に多くの割合を占める企業が増えており、これらの環境も後押しし、多くのお客様から高い評価を得ております。この様に大手企業様のCFO組織を支え、また組織の発展を促すようなサービスを提供するのが、フィエルテです。

フィエルテがお客様に提供する価値は何でしょうか？

子会社が100社あっても1,000社あっても、連結単位でみると1社になります。子会社が多い企業は当社のお客様を含め日本にも数多くあります。しかし連結決算業務を多く抱えている企業は日本広しといえどフィエルテのみです。数多くの有名企業の連結決算業務がフィエルテのみに集中しているのです。これはとてつもない価値だと考えています。更にそこにプラスしてフィエルテにはDivaSystemがあります。色々な企業の決算のやり方を知っていてDivaSystemにも詳しいのは世界中でフィエルテだけです。フィエルテだからこそその業務改善を期待され、またその提案が評価されております。

また今後、フィエルテがすべきことは、たくさんのお客様のノウハウをプロダクト化することです。これだけのお客様のノウハウをプロダクト化すれば、当社の価値は現在とは比較できない次元まで上がると考えております。

フィエルテを今後どのような会社にしていきたいですか？

全ての社員がフィエルテに勤めていることを誇りに思えるような会社を目指しております。唯一無二のノウハウとそれを商品化した最高の商品および最高のサービス、そしてそこに集う最高の社員と最高のお客様。これらを全て揃えることが私の実現したいことです。

永田社長が感じる、フィエルテの魅力をお話ください。

あらゆる可能性に満ち溢れているところです。先が見えていたり、決まったマーケットを他社と取り合っ

ている訳ではなく、自らの発想と自らの力でマーケットを創り出しているのは、とても魅力があるところだと思っています。

フィエルテの社員に対する期待をお話ください。

正しいことを正しくできる人材になって欲しいです。多くの人は仕事を上手くやろうとします。仕事は上手くやろうとしても結果的には上手くできません。仕事は正しくやるべきだからです。正しいことを正しくやることが出来れば、必ず正しい結果となります。またその積み重ねこそが、自分にとって最高の職場環境をつくる唯一の手段だと考えております。全員が正しいことを追求し、正しいことを正しくできれば、それはあらゆる面で素晴らしい結果になりますし、一人でも多くの社員が正しいことを正しくできる人材になってくれることを期待しております。

入社を検討をしている方へメッセージをお願いします。

長い人生の中で多くの時間を占める仕事にどう向き合うのかは、一度しかない人生を豊かにするうえで大変重要なことです。疲れた顔をして満員電車に乗り、仕事を生活のためと割り切っている大人になりたいですか？このように、仕事を生活のためと割り切ることは生きているのではなく生かされている人の発想です。(勿論、すべての人はあらゆる人の支えがあり生かされていますが、それとこれとは異なります)仕事を手段から、自らを生き生きと演じる舞台に変えませんか？

仕事を中心に生きるのではなく、仕事を手段に生きるのでもなく、仕事を利用して生きるのです。このような発想の方々と一緒に最高の会社にしていきたいと考えています。

フィエルテは何のために存在するのか

フィエルテのお客様は「日本を代表するような大企業」、もしくは「いずれ日本を代表するような成長中の企業」。そのような企業は、不確実な時代、変化の激しい時代の中で日々「難しい経営」と対峙している。その中で管理部門は「守り（定型業務のみ）」ではなく「攻め（非定型業務）」の姿勢が、また経理財務組織は、売上管理や会計処理などの「数字をつくる」だけに留まらず「数字をつかう」ことが求められます。お客様が「攻め」のための時間、「数字をつかう」ことで経営の判断・決断に繋げる時間を少しでも増やすために「フィエルテ」が存在します。

issue



CFO[※] および配下の財務経理組織は情報を「つくる」から「つかう」にシフトしたい

※CFO: Chief Financial Officer- 最高財務責任者の略称



solution

会計(業務)

×

IT

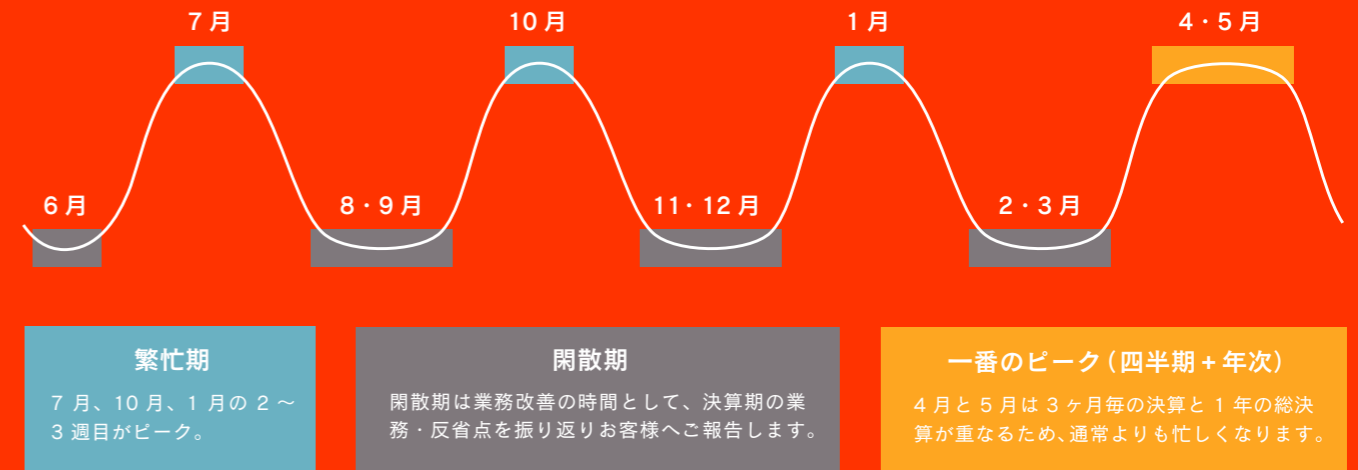
で解決



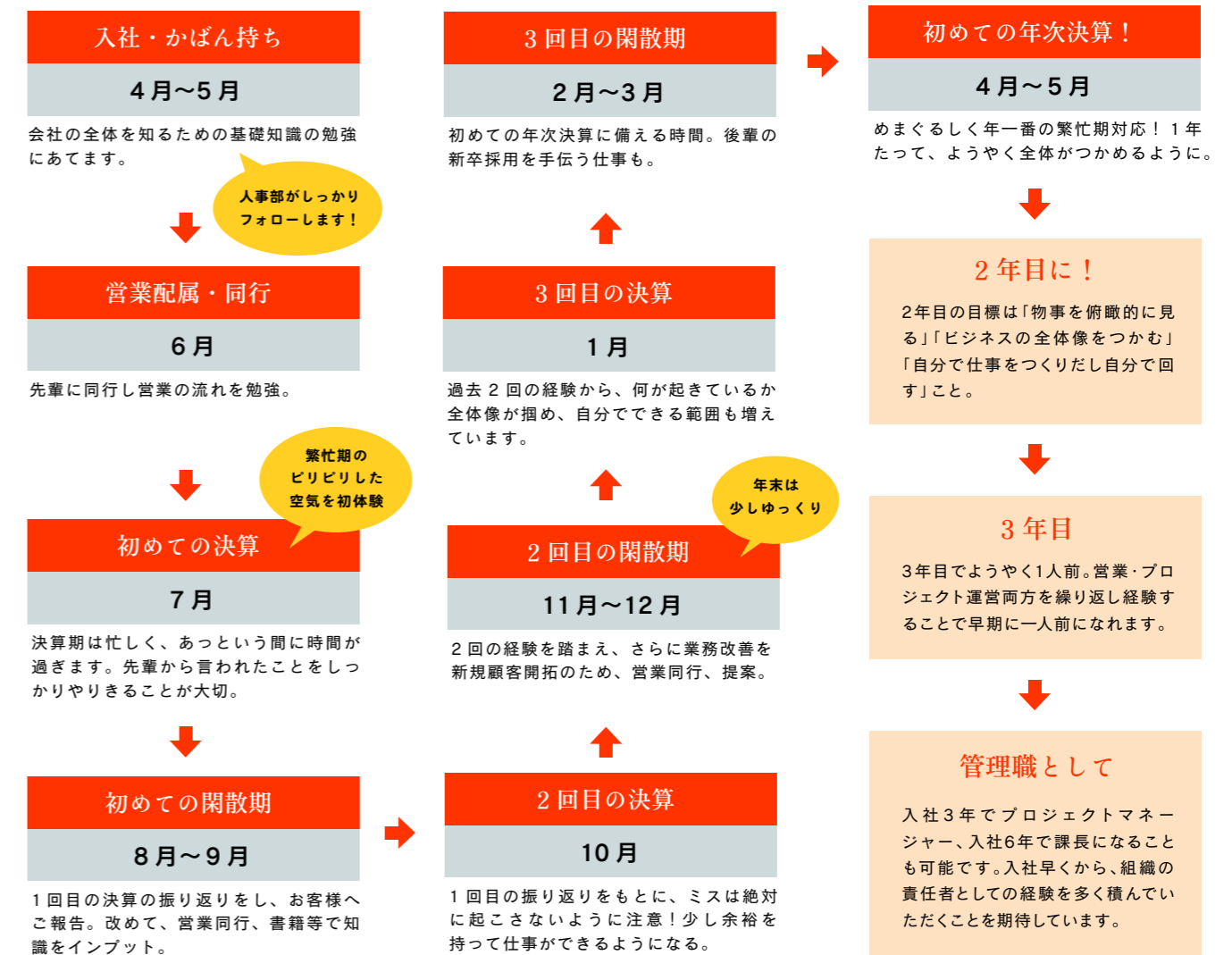
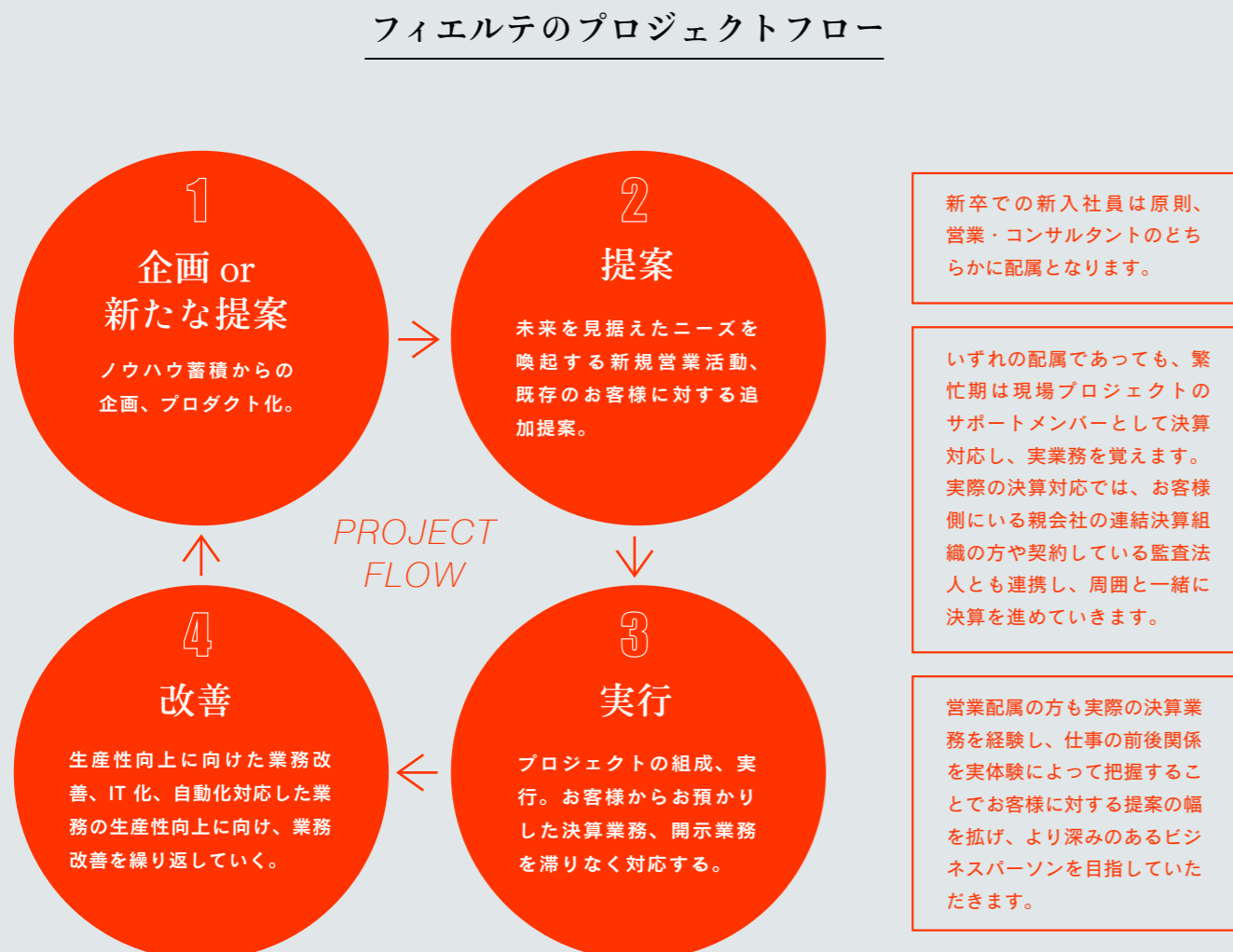
お客様が何に困っているのかを理解することでフィエルテの提案の幅は広がる。

1年の繁忙サイクル（3月期末の連結決算プロジェクトの場合）

※月次決算プロジェクトの場合は毎月月初が多忙で、月末が落ち着くサイクルです。



フィエルテ入社後の流れ（営業配属の場合）



FAQ

Q. 専門性の高い領域で経験やスキルが必要そうですが、求める経験は何ですか？

A. 実務経験よりも「やってみたい」という動機・意欲を重視しています。

専門性の高い領域を扱っていますが、1つの場所にお客様の業務を集約し、経験の浅い方でも徐々にステップアップいただける仕組みで運営できているためです。過去、会計やITの知識や経験のない方の採用実績もあり、未経験で入社いただいた方も多数いらっしゃいます。この領域に携わり、仕事を通じて自己成長を実現してみたい。そのように思った動機・意欲を見させてもらっています。

Q. 入社前の事前準備や、経験の浅い人が入社までに努力すべきこと、必要なことを教えてください。

A. 日商簿記2級相当の知識は必要です。

大手企業を中心とした経理財務に関わるお客様を相手にするため、日商簿記2級相当の知識は必須となります。お持ちでない場合は入社後でも構いませんので、是非とも合格水準に達していただきたいと思います。

Q. 入社後、どのような研修やサポートがありますか？

A. リーダー、先輩社員の元でのOJTが中心です。

専用システムのトレーニングや連結決算に関する知識をeラーニングで学習いただく機会もありますが、基本的にはOJT(実際の業務を通じた習得)がメインとなります。完璧な座学研修が用意できたら良いものの、日々会計ルール(法律)は進化しており、お客様の事業体制も決算毎に進化しています。そのため、実際にお客様からお預かりしている業務をプロジェクトメンバーとして対応していく中で経験値を積み重ねていただくこととなります。1人だけで対応するプロジェクトは稀であり、数名~10名弱で対応するプロジェクトがほとんどですので、リーダーや先輩社員のフォローのもと徐々に出来る範囲を拡げてください。

Q. 活躍している人材はどういった方が多いですか？

A. 「業務改善志向」を持っている社員が多いです。

目的志向(俯瞰してものを見る力)に立って考え、行動していただくことを大事にしています。目先の手段だけに捉われず、本来の目的、目標を達することから逆算して考える癖を身に付け、最善の策を考え抜き、とことんやりきってほしいです。お客様からお預かりした決算業務を滞りなく対応することだけに留まらず、その業務をより短時間で、よりミスな形で効率良く対応するにはどうしたら良いか。連結決算や開示等に関わる業務とITのノウハウを持ち合わせ、お客様だけでは実現できないような新たな価値を生み出し続けられるよう、考え抜き、実践し続けられる方が変化に適應でき、日々成長していただいていると思います。

Q. 入社後、どのようなキャリアパスがありますか？

A. 20代のうちにマネジメント経験や確固たる専門性を習得する機会があります。

毎年新たな社員を迎えながら成長をしていますので、組織を率いるマネジメントの立場として活躍していただくことを期待しています。その他、会計専門性に長けたコンサルタントとしての活躍、並びにIT側の知見を伸ばし、新たなプロダクトを生み出す役割を担うパスもございます。連結決算アウトソーシングを起点に、お客様のCFOファンクションを支援する事業領域を日々拡大し続け、新しい事業の立ち上げにも積極的に取り組んでいますので、事業づくりそのものに関与していただくことも可能です。会計×ITの知見を土台に、ビジネスパーソンとしてどこにいても恥ずかしくないキャリアを描いてほしいと思います。

FAQ

Q. 福利厚生についてはどのようなものがありますか？

A. 会社が一方的に決めるのではなく、なんと社員の裁量で福利厚生をつくっています。

実はディーバから分社化してフィエルテができた2017年のタイミングでは目立った福利厚生はありませんでした。そこから福利厚生委員会という社員主体の自主的な組織を立ち上げ、「社員にとってどのような福利厚生があれば嬉しいのか？」を考え、設計した予算の中で新しい福利厚生施策に取り組んでいます。おいしい水を飲みたいからウォーターサーバーを設置する。新入社員を歓迎したいので新人歓迎ランチ制度をつくる。好きな本を休憩時間等に読みたいので、マンガもOKなフィエルテ図書館を設置する。みんなの健康を大事にしたいので、健康診断のオプション利用を補助する制度をつくる。などなど。自らの意志で決められる一方で運営の責任も伴いますが、一緒に良い会社をつくっていると実感できる運営を進めています。

Q. 働き方として導入している変形労働制とはどのようなものですか？

A. 労働時間を年単位で把握する働き方です。繁忙期・閑散期を明確にし、メリハリを付けて働けます。

連結決算業務は年4回の実施となっており、3ヶ月単位で繁閑差があるのですが、労働時間について画一的な管理をするのではなく、対応するプロジェクトの実態に合わせてシフトを組むようにしています。繁忙期はどうしても忙しくなってしまうますが、その閑散期は有休をつかっていただいたり、9時~16時勤務と短時間勤務にするなど、メリハリをつけた働き方が実現できるよう、変形労働制を導入しています。残念ながら常時残業ゼロとすることは難しいのですが、繁閑差があつたとしても、月平均残業時間30時間未満(1日あたり1.5時間)に収まるようなマネジメント体制を徹底していますのでご安心ください。

Q. 社内の雰囲気はどのような感じですか？

A. オンとオフははっきりしていて、何事にもメリハリのある風土です。

業務中は限られた時間の中で生産性ある仕事をしようとする社員が多く、仕事の特性上、電話が飛び交うような環境ではないので、どちらかというとシーンとしています。お客様の大切な決算情報を扱う仕事であるため、細部にもこだわることを大切にしており、仕事中は立場に関係なく、お互いを律しながら業務にあたっていると思います。お客様に対して価値を提供し、満足いただくためにプロジェクトとして何ができるか、真剣に考え抜いて高いクオリティの仕事をしようと考えています。一方、休憩時間はリラックスして雑談を楽しむメンバーも多いですし、休日に有志で運動したり、キャンプに行ったりするメンバーもいます。家庭のある方は自分の仕事を終えたらさっと帰る人もいますし、同僚と一緒に飲みに行く人もいます。必要以上にプライベートまで干渉し合うことのない風土ですが、最適な距離感でコミュニケーションを取る人が多い環境です。

Q. 評価や給与改定はどのようにされるのでしょうか？

A. 年1回、期末(6月末)に、各上長が評価をつけます。

メンバーの方は、プロジェクトを管轄する課長が。課長は部長が。と、全体バランスの考慮もありますが、原則として、直属の上長が評価を行い、上長が評価を決めます。ご自身が出した成果と共に、所属する組織全体の成長はどうだったのか、評価者である上長がどのように評価をしたのか、率直に会話をしてもらいます。目標設定を細かく行って達成度を具体的に測定しても良いですし、しなくてもきちんと成果を残して周囲から認められれば評価してもらうこともできます。画一的なやり方ではなく個々の意向を尊重していて、年1回の評価のタイミングだけではなく、どのような評価の進め方がお互いにとって良いのか、評価機会を待つだけではなく、主体的に上長との対話を繰り返すことを大事にしてください。

Q. 産休育休の実績や取りやすさはいかがでしょうか？

A. グループ全体として産休育休の実績が複数。もちろんフィエルテでも実績あり。

フィエルテでは女性社員の比率も多いため、今後、産休育休を取得される方も増えていくと思っています。会社として、まだまだ未整備な部分も多いですが、バックアップできる体制を整えていきたいと思っています。



人事メッセージ

採用責任者 金丸健人

1. あなたの「自分らしさ」とは何か。選考で存分に聞かせてください

採用選考において、「話が上手い」、「きれいな自己PR・志望動機が書ける」といったテクニックも時に大切です。しかし、フィエルテの選考では、どんなに説明や表現が拙くても構いません。志望動機は後付けでも良いです。それよりも私たちが大切にしたいのは、「自分自身の人生は自分のものである」という発想です。自分の人生のことを自分の頭で考え、自分でその道を切り開いていきたい。この考え方を尊重したいと思っています。人が選択する会社や職種は、あくまでその人の人生の目的を達成するための一手段に過ぎません。手段だけに捉われずに自分の人生の目的を明確に持ち、そのために仕事もトコトン楽しもうという考えを大切にしてください。あなたにとって”はたらく”ということの目的や動機は何なのか？を是非じっくりと聞かせてください。

2. 入社後はお互いをリスペクトし合い、良い会社と良いキャリアを一緒につくりましょう

「企業（雇用する側）」と「人（雇用される側）」。お互いに対等な存在として、採用・就職という場で真剣に向き合う。どちらかが上で、どちらかが下ということは一切ありません。少し青臭いかもしれませんが、私たちは本気でそう思っています。はたらく人が思い切った仕事で”挑戦”ができるよう、会社は”安心”して働ける環境を提供する。一方、会社も常に物事が上手くいくわけじゃありませんから、一人ひとりに自立してもらい、仕事をする中で成長を続け、会社に対して成果で応えてもらう。会社は働きやすい環境や成長機会をつくり、社員はそれを活用して成果を出して貢献する。このようにお互いを支え合う関係を大切にしたいと思っています。フィエルテという会社は、事業立ち上げ以来、継続して事業成長を続けていますが、まだまだ会社としては未成熟な段階です。自分自身の良きキャリアを築くことに拘っていきながら、同時に一緒に自分自身の手で良い会社もつくっていきませんか。

3. 世の中の変化に対して柔軟にキャリアを進化させ、市場価値を当社で高め続けてください

今後、生涯にわたってどのような仕事に就くにしても、柔軟に適應できるビジネスパーソンになってもらいたい。業界や職種に関係なく、仕事に対して真摯に向き合い、お客様に高い価値を残せるよう、自分自身を成長させてほしい。数多ある会社の中から、フィエルテを選んで入社することを決断していただいた以上、相応の市場価値を返したいと考えています。そう思うからこそ、常に変化していく時代や環境に合わせ、自らを変化させ、1つだけに固執せずに学び続けよう、成長し続けようという考え方を持つ方を歓迎いたします。フィエルテという場を活用の上、ビジネスパーソンとして成長してみたい、という方をお待ちしています。外に出ても恥ずかしくないようなキャリアを描ける機会をあなたに提供したいですし、仮に外に出ることになっても、小さいことは言うつもりはありません。働きながら常に市場価値を高められ、フィエルテの中でキャリアパスがありつつも、外部に出るとしても困らない実力をつける。市場の進化圧に対して柔軟性を持って対応できるキャリアが築けるような会社であり続けたいと思っています。入って良かった。そしてずっといたい。そう思えるような会社になれるよう、フィエルテの市場価値も高めていきたいと思っています。

株式会社フィエルテ

設立：平成29年8月7日 代表者：代表取締役社長 永田 玄 事業内容：アウトソーシング関連事業

所在地：〒163-1343 東京都新宿区西新宿六丁目5番1号 新宿アイランドタワー43階 TEL:03-5909-5177(代表) FAX:03-5909-5199

FIERTE